

健康経営を取り入れた オフィスツール



健康経営とは

経営者が社員の健康管理を経営課題ととらえて取り組むことを示します。社員が健やかに働ける環境を整えることで良いパフォーマンスを発揮できるようになると言われていることから、オフィスに取り入れる企業が増えています。生産性や創造性が高まることで企業のイメージアップにも繋がるでしょう。

オフィスに健康経営を取り入れると、社員はどのように感じるでしょうか？



長時間座ることで、生活習慣病などの健康リスクが高まると言われています。例えば、執務室に座ったまま運動効果のある椅子を採用することで快適に働くことができるでしょう。



立ち仕事ができる場所を設置することも有効です。例えば、立ちミーティングができるデスクを採用することで生産性の向上につながると言われています。

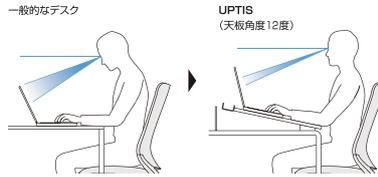
UPTIS

アプティス

天板の角度を調整できるデスクシリーズ。傾斜角度は 8 段階まで調整可能です。視点が上がることで、目と手首と首の負担を軽減できます。



視点が上がる※1



水平な天板と比べ、画面が上がること
目が疲れにくくなります。

手首の筋肉負担が少ない傾向※2



ノート PC スタンドを使用するよりも
手首の筋負担が少ない傾向があります。

※早稲田大学 河合研究室コクヨ共同調べ
※1 UPTIS(天板高さ 720 ミリ、天板角度 12 度)と一般的なデスク
(天板高さ 720 ミリ、天板角度 0 度の水平な天板)の比較・N=16、平均値の比較、 $p < 0.1$
※2 UPTIS(天板高さ 720 ミリ、天板角度 12 度)とノート PC スタンド(角度 17 度)の比較・N=5、平均値の比較

詳細はこちらから



SEQUENCE

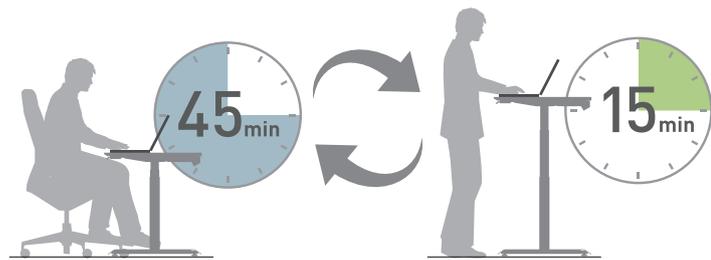
シークエンス



電動昇降デスクシリーズ。座ることと立つことを繰り返すことでリフレッシュにも繋がります。ひとりひとりにあわせてデスクの高さを調整できます。



座ること、立つことは交互に



座りすぎにより身体への負担が問題となっています。
1 時間に 15 分程度、スタンディングワークを取り入れることで
健康的に働けると言われています。

詳細はこちらから



ingLIFE

イングライフ

バランスボールに座っている感覚で座面が 360° 自由に動く椅子シリーズ。動きながら座ることで、自然に働きやすい姿勢に整えることができます。

体を固めない、自由な動きに寄り添う



バランスボールに座っている感覚で、座面が 360 度自由に動くので
座った時の上半身の負担を軽減。座るだけで自然に働きやすい姿勢に整えます。

詳細はこちらから



お問い合わせ

- 商品の仕様および価格は 2022 年 9 月 1 日現在のものです。
諸般の事情により予告なく変更することもありますので、あらかじめご了承ください。
- 配送費、組立費などの諸経費は別途申し受けます。

KOKUYO

コクヨマーケティング株式会社 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 18 階